

世界最大の風上げ記録保持者が来市・市長を表敬訪問

六月十二・十三日の二日間、オランダのスヘニンゲン市で開催される「国際風揚げフェスティバル」で、白根の大風が舞い揚がります。

この参加要請のために、オランダから同フェスティバルの創始者で、世界最大の風揚げ記録保持者でもあるゲラルド・バン・デル・ルーさんら三人が来市。四月三十日、市長を表敬訪問しました。「種豚、チューリップ、球根などオランダ農業と本市農業は深いかわりがあります。これを機によりしく」と吉沢市長。本市のPRをまじえながら、なごやかに歓談していました。

華やかに成人式

自主的にはたちの献血も

五月三日、「はたち」の喜びであふれる成人式が、青年教育センターで行われました。

今年成人を迎えた若者は四百七十七人。会場は華やかな和服姿でいっぱい。吉沢市長らが「社会における新しい血となれ」と励ました後、新成人を代表して小湊知見さん（道鴻）と上田久子さん（日井）が「認められた権利を大切に」と誓いのことを述べました。また、この日は新成人らの若者による企画「はたちの献血」も行われました。



市展

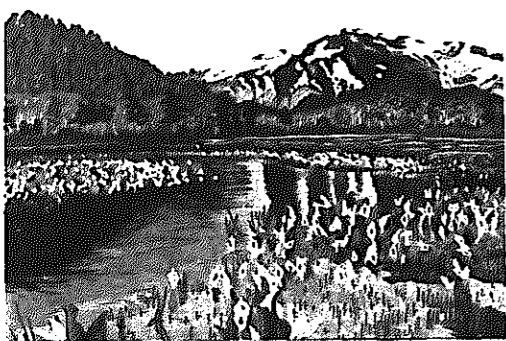
市長賞など決まる

開催は6月3日～7日 産業厚生会館で

市美術展覧会が、六月三日から七日まで産業厚生会館で開催されます。おさそい合わせてお出かけください。十回目を迎える今回は、初めて作品の審査を行いました。出品点数は二百八十三点と、例年

になく多く、作品はどれも力作ぞろい。審査の結果、市長賞五点【左に掲載】、教育長賞十六点、協会長賞十一、議長賞三点が決まりました。また、新企画として出品者全員の作品を掲載した「第十回記

念市展作品集」を発行。希望者には市展の開催中、会場で一歩千円でお分けます。市展についての問い合わせは社会教育課指導係（☎三二七一）へどうぞ。



日本画 「尾瀬留りの水芭蕉」 吉田アサさん（伊弉）



美術工芸 「朱鷺」 枝村佐門さん（新飯田中町）



洋画 「壁画」 大橋一男さん（二の町）



写真 「落陽」 上林照明さん（能登）



書道 「寄那逸人」 富井カズさん（能登）



私の生きがい

息長く続けていきたい拡大写本

大通 希与子さん（下塩俵・主婦・55歳）

この世の中に、自己の生きがいにつながるような仕事は、そうざらにはないと思います。外に出さずすれば、即自分が磨けるというものではないと思うけれど、良き女の人生を送るために、私にもできる生きがいづくりはないかと探した結果、すばらしい奉仕活動を見つけ出したので、紹介したいと思います。

それは、知人から「拡大写本をやらなさいか」という誘いを受けたので、またとない機会と、早速「拡大写本」ともよびの会」の仲間へ広報しろねを讀んで

古い『赤紙』三つめの意見

成沢素明さん（東笠巻新田・会社員・65歳）

「古い『赤紙』もう一つの見方」を讀んで、東笠巻新田の本間清さんは、「昔のことですがね」と前置きして、次のように語ってく

その日、たしか消防の会議を終えて帰る途中、役場の用務員さんに会い、「召集令状が来ている」と言われ、一緒に家に帰ったことを覚えてます。用務員さんが赤紙を渡して帰られた後、玄関のすぐ目につく所に、あの古い赤紙が貼ってあったのを記憶しています。そこで、あれは召集令状を届け、留守のときに貼っておき、見たらすぐ役場に出頭するよう命じたものではないかと、召集令状は生後八か月だった末娘が四歳になっており、私を見て他人と思つたらしく、変な顔をしていました。もう戦争はいやですな」

持戒一日破戒百年

安らぎの心で一日一日を大切に生きたい

東樹友次さん（住吉町・無職・69歳）

朝鮮の慈蔵という人が、持戒一日、破戒百年と申されました。これは人が戒律を守って生きる一日の価値は、盗人、泥棒、賭博、詐欺、邪淫を犯して生きる百年よりも、勝れているということだそう

かりに人生百年とすると、三万六千五百日生きることになります。私は六十九歳ですから、二万五千八百八十五日の太陽の光を消して（消光）きたわけです。残りは

投稿ください。市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見を気軽に寄ってください。採用文には謝を差し上げます。ページの都合で、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根二三五 白根市役所企画財政課広報広聴係です。